

## 令和4年第2回（3月）定例会 代表質問通告表

順	質 問 事 項	質 問 者
1	<p>1 過去2年間の市政運営と今後の意気込みについて</p> <p>(1) 自己評価と改善すべき点は</p> <p>(2) 組織運営、外部人材の活用、不祥事防止策</p> <p>(3) 市民と寄り添う政治が実現できているか</p> <p>2 市民生活に欠かせないインフラ整備について</p> <p>(1) 両津港埠頭整備</p> <p>(2) 国道350号国仲バイパスと県道佐渡一周線改良</p> <p>(3) 佐渡空港拡張</p> <p>(4) 防災拠点庁舎</p> <p>(5) 両津病院新築と特別養護老人ホーム移転</p> <p>3 施政方針と市総合計画に基づく当初予算について</p> <p>(1) 具体的な当初予算編成方針</p> <p>(2) 財源確保策について</p> <p>(3) 賑わい・経済・地域の喪失を受け止め、地域バランスも考慮した予算か</p> <p>(4) 前期基本計画の進行管理とチェック体制</p> <p>4 新型コロナウイルスへの対応について</p> <p>(1) 医療機関や学校などの危機対応とエッセンシャルワーカー確保策</p> <p>(2) 県や保健所との連携について</p> <p>(3) コロナ終息に向けた出口戦略は</p> <p>(4) 物価上昇による生活困窮者と事業者向け対策</p> <p>5 世界文化遺産など3資産について</p> <p>(1) イコモス調査団受入れの準備は</p> <p>(2) 国際的理解度と島民の意識向上策は</p> <p>(3) 国内外への情報発信と環境整備について</p> <p>(4) ジオパーク10周年で取り組むものは何か</p> <p>(5) 世界農業遺産と環境、生物多様性、農業振興、脱炭素社会など目指すべき形が体系化されているか</p> <p>6 本土との交通体系の充実について</p> <p>(1) 佐渡汽船について</p> <p>① みちのりホールディングスとの協議に向けた基本的姿勢</p> <p>② 昨年度出資済みの約3億6千万円の位置づけと株主としての佐渡市の責任は</p> <p>③ 1隻体制で貨物輸送に支障はないか</p> <p>(2) 佐渡空港の活用について</p> <p>① トキエア航空路開設に向けた環境整備</p> <p>② 航空路開設による効果と負担への考え方は</p> <p>7 産業振興と雇用政策について</p> <p>(1) 移住定住促進の課題と本社機能移転促進事業について</p> <p>(2) 島内企業の新規起業や雇用促進策は</p> <p>(3) 農林水産業を営みながら生計を立てる手立ては</p> <p>(4) 繁忙期と閑散期が生じる観光業での雇用維持は</p> <p>8 安心な島暮らしについて</p> <p>(1) 自然災害への備え（共助の力）を維持する手立ては</p> <p>(2) 医療・福祉・介護人材と提供体制協議会の役割は</p> <p>(3) 出生数減対策と子育て支援</p> <p>9 地域活動と教育について</p> <p>(1) 地域づくりに繋がる活動と地域での学びについて</p> <p>(2) 「地域みらい留学制度」とコンソーシアム</p> <p>(3) 佐渡文化財団の活動方針は</p>	<p>新生クラブ 金田 淳一</p>

順	質 問 事 項	質 問 者
2	<p>◎ 佐渡アイランド集落ツーリズム構想の実現に向けて 【しごとづくり】【ひとづくり】【まちづくり】の計画に関する確認と提案 令和4年度施政方針について問う</p> <p>(1) 市民の意見を市政に反映する島づくりについて</p> <p>① 「リスタート元年」と位置づける年度の佐渡市総合計画の実行とSDGs未来都市への決意</p> <p>② デジタル社会への変革とデジタル政策室の役割</p> <p>③ タブレット等導入によるGIGA議会構想の実現</p> <p>④ 地域コミュニティ交付金と元気な地域づくり支援事業とのすみ分け</p> <p>(2) 産業振興と雇用が充実した島づくりについて</p> <p>① アフターコロナを見据えた観光振興戦略</p> <p>② ふるさと納税及び企業版ふるさと納税の促進</p> <p>③ 包括連携協定及び連携協定締結団体との真の連携</p> <p>④ 新潟県「スポーツと文化の振興」との連携</p> <p>⑤ 持続可能な地域づくりの進捗状況</p> <p>⑥ 集落の集会所を活用した地域づくりの拠点化推進</p> <p>⑦ みちのりホールディングス社による佐渡汽船の経営再建</p> <p>⑧ トキエア社による佐渡と首都圏便の開通</p> <p>⑨ 新潟市との包括連携協定の締結</p> <p>(3) 防災・減災で安全安心な島づくりについて</p> <p>① 全島の光回線整備計画の進捗状況</p> <p>② 新潟県自然エネルギーの島構想のベストミックスは</p> <p>(4) 子どもから高齢者まで市民が夢や希望がもてる島づくりについて</p> <p>① 新型コロナウイルス感染症対策</p> <p>② 人口減少の抜本的対策は</p> <p>③ 子育て世代の移住定住促進</p> <p>④ こども家庭庁の創設を追い風にファミリーサポートセンター等の民営化推進</p> <p>⑤ 放課後子ども教室の拡充、成熟化</p> <p>⑥ 「健康寿命日本一の島」の具体的な施策は</p> <p>⑦ 二地域居住の推進と関係人口100万人創出に向けて</p> <p>(5) 医療・介護・福祉が充実した島づくりについて</p> <p>① 医師、看護師不足の抜本的対策は</p> <p>② オンライン診療を含めたICT化の内容</p> <p>(6) 教育と文化の島づくりについて</p> <p>① 佐渡教育コンソーシアムの進捗状況と大学連携の推進</p> <p>② 世界農業遺産、佐渡ジオパーク及び来年6月の世界文化遺産登録へ</p> <p>③ 3冠から4冠へ、「森は海の恋人」を体現する生物圏保存地域（ユネスコエコパーク）への挑戦</p>	政風会 室岡啓史
3	<p>1 佐渡航空路について</p> <p>2 佐渡汽船子会社化について</p> <p>3 「佐渡島の金山」世界遺産登録について</p> <p>4 市観光振興課と佐渡観光交流機構の役割について</p> <p>5 健康寿命日本一への取組と今後の温泉・入浴施設の在り方について</p>	公明党 山田伸之